



## ボランティアニュース

220号 2022年3月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦與

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

### コロナ禍でのボランティア活動

総務課 ボランティアコーディネーター 加藤悦與

私は2020年3月号のこの欄で、コロナの終息を願っていました。それからの2年を振り返りますと、ボランティア団体「オレンジクラブ」の皆さんが常に前を向いてきたという事を、強く思います。代表の三木さんは安全安心な活動を一番に掲げ、感染拡大時は活動の自粛を呼びかけ、病院からの情報を基に、活動の判断基準を設けてきました。病院との情報交換が中断しないように会議はオンラインにしました。高齢の方もすっかり慣れて参加しています。一方、センターも子どもと接するボランティアの方へのワクチン接種は院内で出来るようにして、「ボランティアは不要不急ではない」とし、安全安心な活動の検討を一緒に重ねてきました。

実際の活動に向けては、ボランティアの方も心配の程度や状況がお一人お一人異なることや、活動グループの感染リスクにも違いがあり、常に感染対策室との相談でした。もちろん緊急事態宣言発令時等の対処は明らかですが、活動再開時の判断の方が難しかったです。

こうした中で、常々感じていたことは、ボランティアの皆さんの患者さんやご家族へ、またセンターへの深い愛情でした。三木代表は『オレンジクラブは、自粛していてもいつでもこども医療センターを応援しています』とメッセージを発信して下さいました。また、外来での折り紙を渡せない時期は、折り紙作品を袋に詰めて安全に渡すように切り替えたり、「ぼぼんた」のお話会もiPadを購入し病棟との週1回3病棟のお話会を定着させました。重心施設ひだまりでの対面活動は、オンラインや月毎に作成するDVDで楽しめるように切り替えたり、自粛期間中も園芸は一人活動で水やりやタネ植えをしたそうです。縫製活動も一人活動で依頼修理に伝えていました。そして、病院に来られないきょうだい児へは、お母さんやお父さんと一緒に遊べるように、在宅活動協力等で「遊びキット」を毎月作成しています。

ボランティア活動は、市民の課題に取り組み「創造」の活動でもあります。知恵をしばり、前に進んでいます。私は、その応援者でいられることにいつも感謝しています。

最後になりますが、この場をお借りして伝えたい事があります。毎日の報道にあります、ロシアのウクライナへの軍事侵攻、戦争が早く終わることを願います。病気の子もたちまでもが治療の継続困難な状況にあるという事はとてもやりきれない気持ちです。



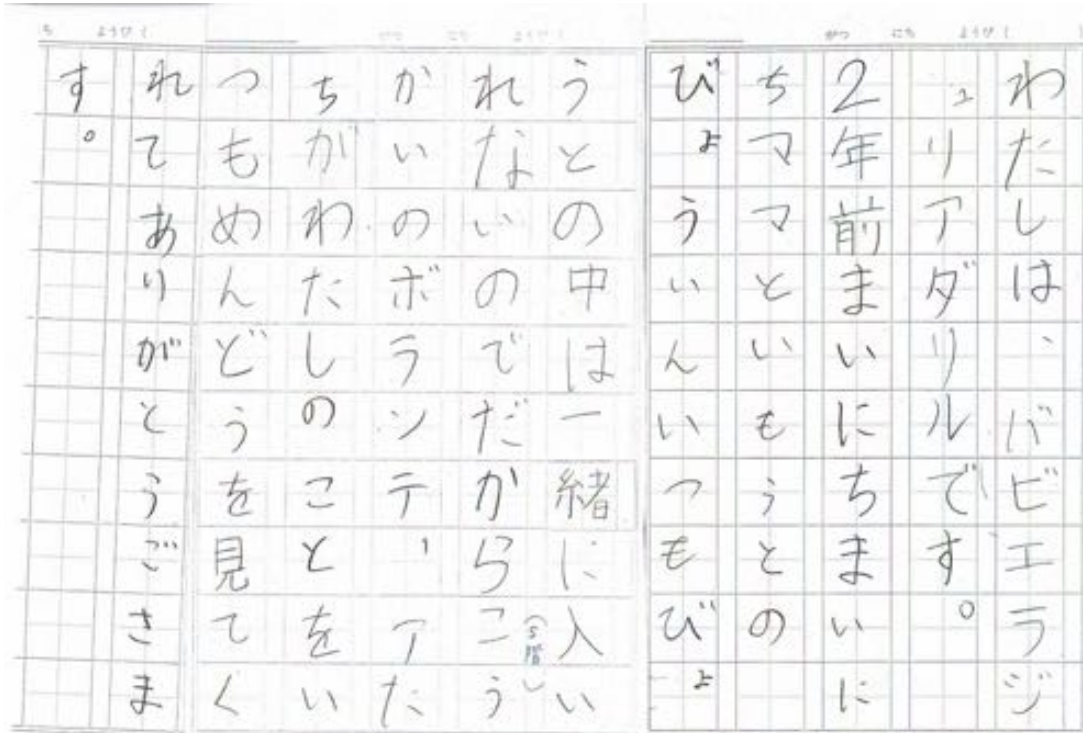
(お子さんたちのガラス窓のお絵描き)

ジュリアちゃん、児童書写展、表彰おめでとう！

コロナ禍になる前、一番下の妹さんの入院のため、毎日病院にくるお母さんと一緒に来ていた5歳のジュリアちゃんをお預かりしていました。先日、そんなジュリアちゃんのお母さんと思いがけない形での再会がありました。相談室の方から「オレンジクラブの方にもご報告したほうが良いと思って」と、うれしいご連絡を頂き、私たちははいてもたってもいられず、まだ病院内にいらしたジュリアちゃんのお母さんに会いに伺いました。ジュリアちゃんが書写展で表彰されたこと、ボランティアさんたちと字の練習をしたことで上手になったこと、自信を持って毎日学校へ通っていることなどを伺いました。とってもとってもうれしくてたまりませんでした。

ジュリアちゃん、本当におめでとう！

きょうだいお預かり保育士 小林・吉野



毎日毎日、むすめとこども医療センターに通っていました。一年ぐら一番下の子どもがずっと入院していました。その時、おねえちゃんは病棟の中に、入れませんでした。5階のオレンジクラブのボランティアたちには、毎日2～4時間くらいお姉ちゃんのめんどろを見てくれました。あの時は、もう小学校入る前に、私は自分もジュリアにいろいろ教えることはできませんでした。なので私は、ボランティアさんに、お願いをしました。むすめは、書けない、読めなかったので、みんなと、努力をしました。小一の時は、ひらがなで優勝をもらいました。二年生になってから、新横浜で漢字の優勝をもらいました。みんなのおかげで、字がきれいに書けるようになりました。ありがとうございました。

母のバビエラマリア・リナ（フィリピン出身）



### ぽぽんたトピック通信④

キクちゃん

コロナ感染は、オミクロン株に変化して又また感染は広がっている。以前より感染者の数は少ないようだが、全国での死者の数は増えている。最近では感染しても自宅待機が多いので、さぞかし不安なことだろう。と他人事のように言うてはいるが、いつ自分に降りかかってくるか不安は付きまとう。ぽぽんたの活動は全面的中止となっている。活動するために3回目のワクチンが待ち遠しい。一日も早く皆が3回目の接種が出来るといいのだが・・・今、学生たちは受験の時期だ。試験が無事に出来るよう近所の天満宮さまにお参りをした。紅白の梅の花が満開で美しい。木肌が梅ではない濃いピンク色の蕾を付けた木を見つけた。寒比桜だ。永谷川の土手にはこの寒比桜が植わっていて、春を呼び寄せるように濃いピンクの帯が長く続くのだ。♪春よ来い・早く来い♪ マスクを外しても安心な日が早くくるといいな！

**3月9日 300束用意してお子さんにお花を差し上げるイベントがありました。皆さん笑顔に♥**

主催：「病院の子どもにお花を届けたい」の87名の皆様



どれがいいかな  
みんないいなあ

お花を頂いた方からボランティアさんにメッセージを頂きました。一部ご紹介します。

- \*退院の日にステキなお花をいただけてうれしかったです。大切にします。
- \*ピンクの可愛いお花をありがとうございました。おうちで癒されます。
- \*リモート卒業式 今日してきました。娘も喜びます。ありがとうございます。
- \*病院の玄関を出たら、沢山のお花たちが待っていました。本当に嬉しいです。

## 視覚障がい者のボランティアです(\*^-^\*)

オレンジクラブ副代表 患者図書室 高橋奈緒美

今回は、自身の事について書かせていただきます。

こども医療センターでのボランティア活動を始めて10年近くなります。きっかけは、自分が何か社会の役に立てる場があれば・・・そんな思いでした。

そんな思いになる7年程前、国の特定疾患として指定されている難病「網膜色素変性症」という原因もわからず治療法もない進行性の目の病気を告知されました。経過を見ないとわからないが、10年先、見えている保証はありません。と言われ、「困ったぞ(°Д°)!!」・・・様々な思いが頭をよぎる中、進行の具合をみながら、今出来る事をする！そんな思いからこども医療センターのボランティアにたどり着きました。

当時のボランティアコーディネーターであった梶山祥子さんに自身の病について話をさせていただき（病名までは伝えてはいません）、患者図書室での活動を提案されました。

当時の患者図書室は玩具が沢山あり、子ども達の遊び場的なスペースとして多くの子どもたちや親御さん達が訪れ、子ども達の笑い声や、玩具を奪い合う子どもらしい声が響いていました。日を追うごとに顔見知りになる子ども達や親御さんも多くなり、気軽に色々な事をお話し出来る関係が出来ました。そんな子ども達や親御さん達の明るい笑顔や前を向く姿勢からは、今迄感じたことのない沢山の元気や勇気をもらうことが出来、自身も前向きになっていく気持ちの変化を感じたことは、今でも忘れることはできません。

定期的な検査結果で気持ちが落ち、体調の優れなさを感じた時でも子ども達と話し、笑うことで元気が出てきた事も何度も経験しました。子ども達の笑顔のためのボランティアのはずが、子ども達の笑顔や頑張っている親御さん達から私が元気をもらっていた事にも気が付きました。

こんな病には罹りたくなかったという思いと、この病になったから、こども医療にたどり着き、色々な経験や想いを感じる事が出来た事は私の財産の一つになったかと感じています。

このコロナの時期に入り、患者図書室を訪れる患者さんも減ってしまい、以前のような賑わいはなくなってしまいました。親御さんは言葉少なく、小さな声で子ども達に読み聞かせをしていますが、1人1人の元気な子供たちの様子は依然と変わりありません。おもちゃや、塗り絵もおかれない中ですが、図書室を危なげに歩き、ケラケラ笑っている小さな子や、本をもって私に話しかけてくる小学生の子がいたり。子ども達のそんな様子を見ていると、こちらも笑顔になります(\*^-^\*)

以前に読んだ本の中で「笑いは副作用のない最高の薬」という言葉がありました。

どんな時でも“笑顔”を忘れずにこれからも“前に！前に！”慌てず、ゆっくり進んでいけたらと思います!(^^)!

2022 年度活動計画 3月7日ボランティア運営会議にて新年度の予定を決めました。

会議関係	ボランティア運営会議(6月7日・2023年3月7日) ボランティア調整会議(5月16日・10月17日・2023年2月6日)
季節飾り (6回)	4月2日5月飾り・5月28日七夕飾り・7月16日夏飾り・ 11月5日クリスマス飾り・12月29日正月飾り・2023年1月28日つるし雑飾り
研修会 (2回)	6月28日・2023年3月3日・(10月は状況次第)